

ぐんま経済新聞

高崎駅前イオン、開業に向け始動

施工業者は大本組に

来月、初の地元説明会開催

17年秋、JＲ高崎駅西口に開業見込みの大型商業施設「イオンモール高崎駅前」（仮称）の施工業者が中堅ゼネコンの大本組（本社・岡山市）にほぼ決定した。設計は東京の業者だが13年に明らかになったデザインとは別のものに変更になった。10月中旬には地元住民に対しての初の説明会が開かれる予定。高崎ビブレやビジネスホテル解体後、具体的な動きがほとんどなく一部で計画の実現を不安視する声も出ていたが、いよいよ開業に向け始動する。

（東直樹）

らう」という大前提があるが、アパレル関係は金沢、長野、東京まで行かなくても済むような強力なブランドを入店させる。既に決定しているものもあるという。

10月中旬には初の地元説明会を開く予定だ。

当初、開業時期は16年春との見方だったためさら地になってから着工しないイオンモール（千葉県）に対し、業者や地元住民は建設計画について不安視する声まで上がっていた。

そしてこのほど施工業者が大本組にほぼ決定。東京本社（千代田区）を持つ。06年10月に開業したイオンモール高崎の施工も手掛けた。

期待される。1パーが少ないことから

テナントは「地元企業にできるだけ参加しても

これに対しイオンモール高崎駅前の担当チームは昨年暮れにメンバーがほとんど入れ替わった後、新メンバーと高崎市

完成予想パースは13年に明らかになったものは別のものとなり「スクエアではなく今まで高崎市にはなかったようなデザイン」と関係者は形容している。

容している。

地下はなく地上8〜9

階建てで1階が食品スー

パー。駅周辺には高層マ

ンションが増えているが

駅周辺、中心部に食品ス

ぐんま経済新聞
2015年9月17日